

令和2年度 前期末 学校評価アンケートの結果と回答

ご多忙の中、アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果と、代表的なご意見・ご質問に対する回答をお知らせします。今後もよりよい教育提供のため、ご理解・ご協力をお願いいたします。

設問と回答	お子様は、楽しく学校へ登校することができている。	お子様は、家で学校の友達の話をしたり、学校以外で友達と遊んだりしている。	お子様は、感染症予防のための手洗いや消毒、マスクの着用、毎朝の検温が身についている。	お子様は、家庭で家庭学習(習い事)を低学年(20分～)中学年(40分～)高学年(60分～)している。	お子様は、放課後、スポーツや体を動かす遊びをしている。
そう思う	58.5%	49.7%	67.2%	29.5%	32.2%
おおむねそう思う	39.3%	43.7%	32.8%	45.9%	31.1%
あまりそう思わない	1.1%	6.6%	0.0%	20.2%	29.5%
そう思わない	1.1%	0.0%	0.0%	4.4%	7.1%
設問と回答	ゲームやパソコン(タブレット)、テレビ、スマホは家庭でやくそくを決めて使うようにしている。	家庭では「早寝・早起き・あさごはん」、明るいあいさつの実践に努めている。	学校は、お子様についての相談に耳を傾けている。	学校は、お子様の実態に応じて学力を高めようと努めている。	学校は、取組や行事の様子等を学校だより、学年・学級通信やホームページ等で発信しようと努めている。
そう思う	29.0%	47.0%	36.1%	21.9%	39.3%
おおむねそう思う	58.5%	48.6%	58.5%	66.7%	59.6%
あまりそう思わない	11.5%	4.4%	4.9%	9.8%	1.1%
そう思わない	1.1%	0.0%	0.5%	1.6%	0.0%

学習進度	前年度からの臨時休校に伴い、夏休みの短縮や水曜6校時等による授業時数確保と、指導内容の再編成により、本年度中に遅れを取り戻すカリキュラムを編成しています。北九州市では、体育等を減らして国算を増やすといった偏重を行わず、どの教科の学習も大切にしようと努めています。これに基づき、現時点までいずれの学年もおおむね順調に進度を確保しています。今後の臨時休校や学級閉鎖等も想定し、学びの量と質を保障していけるよう努めてまいります。
宿題の量	学校では、かつての習って練習して身に付けるという授業から、考え話し合い見つけるという授業に変わってきています。これは、これまで重視されてきた知識や技能は、これからAIやロボットに代替されていくことを見据えたものです。算数の教科書も考える場面が多くなり、練習問題は減っています。それでも基本的な反復練習は必要であり、この部分を宿題で補充しようとしています。さらに、自ら課題を設定し、計画し、解決していく「学び方」を高めるために、学年に応じて自学に取り組んでいます。トータルで学年×10分を目安としていますが、これは、この時間が学力平均点の分岐点になっているという全国調査の結果に基づくものです。
学習規律	少人数授業や複数指導の機会を増やしたい、その子に応じた教育環境を与えたい、また、集団の規律や人としてのマナーを徹底したいと、常に、強く思っています。結果として、十分な対応ができていないことを申し訳なく思っています。6学年13学級に対し、体育・外国語の専科指導や特別支援教育学習支援、一部取り出し授業、給食補助、休み時間の見守り、管理職等による毎日全学級巡回、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの個別相談、事務職員による授業支援や行事補助など、全職員でより手厚い教育をと努力しているところです。
児童理解	児童理解については、臨時休校後の生活、ネット利用とトラブル、いじめアンケートなどを実施しています。これに基づき、担任から個別に聞き取りや指導を行っています。5年生は、スクールカウンセラーによる全員面談を実施中です。これは、思春期、進学を迎える児童とカウンセラーとの関係づくりを目的に、毎年実施しているものです。 いじめについては、絶対にいけないことと、全学級で繰り返し指導をしています。具体的対策については、学校ホームページに掲載しています。
放課後	不適切な行動に対する地域からのお声掛け、ありがとうございます。学校でも繰り返し指導しているところですが、その場でのお声掛けは大変効果的です。また、学校としては一定の基準として、「子ども同士で校区外には行かない」としていますが、境界域のお宅など、校区内でも環境は様々です。各ご家庭に応じ、ルールを話し合っていただけると幸いです。